

春光に輝く黄色の花たち

秦野ビジターセンター



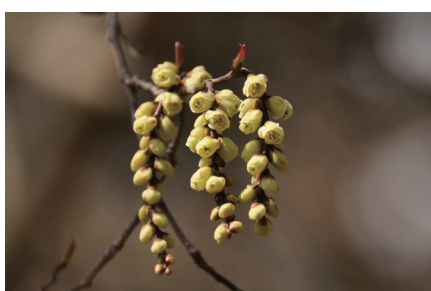
マンサク



ダンコウバイ



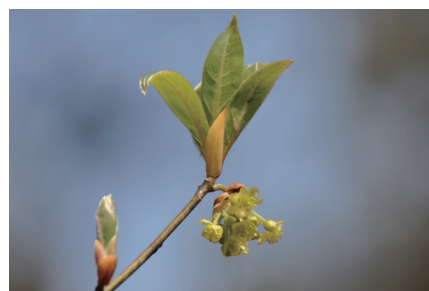
アブラチャン



キブシ



イタヤカエデ



クロモジ

3月頃になると、丹沢山麓から春の花の開花情報が続々と聞こえてきます。タチツボスミレなどのスミレの仲間、地味な黄緑色のオニシバリ、ピンクの星型のラッパのようなウグイスカグラ、暗赤色のフサザクラ、白い壺型のアセビなど、色も形も様々な花たちが、毎日のように咲き始め、日一日と春の色を増やしていきます。

その中でも、春の暖かな陽射しに輝く黄色の花は、まだまだ色の乏しい山肌に、艶やかな色を添えます。リボンのような花びらのマンサク、ポンポンのように花が集まったダンコウバイやアブラチャン、つぼ型の花がすだれのように連なるキブシ、もこっとドーム型に開くイタヤカエデ、花と葉と一緒に開くクロモジなどなど。足元の花も入れれば、黄色の花は数えきれないほどです。

ぜひ、今年は春のたくさんの色の中から、黄色の春を楽しんでみませんか。（執筆：谷脇）

【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターの Facebook ページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

登山のおすすめアイテム第4弾 滑り止め、チェーンスパイクの携行

西丹沢ビジターセンター

丹沢は、春まで白く輝く富士山と違い、真冬でも雪化粧となる日が少ない山塊です。それでも、雪が降った翌日には、多くの登山者が雪景色を求め入山します。

西丹沢では例年12月から4月にかけて月に1～2回雪が降り、標高1000m以上で20cm以上の積雪となることがあります。特に南岸低気圧が発達しやすい春先の3月、4月には50cm以上のドカ雪が降ることも。

積雪時や凍結した登山道を歩くときの必需品が、滑り止めです。滑り止めには、「アイゼン」と「チェーンスパイク」があります。アイゼンは、長さ10mm以上の爪が4～12本付いた金属プレートで、靴にベルトで固定して使うものです。一方チェーンスパイクは、長さ5mm程度の爪9～18本をチェーンでつないだ形状の道具で、伸縮性のある樹脂ベルトで履くように靴に固定して使います。

丹沢など積雪がそれほど深くならない山に行く場合は、チェーンスパイクの携行がおすすめです。チェーンスパイクは、爪が短く、普段と同じように歩ける上、雪や凍結もかむので滑りにくくなります。小さく折りたたためて、携行しやすいのも利点です。また、登山道に雪がなくても突然凍結箇所に出くわす場合がありますが、脱着がしやすいので素早く対応できます。ただ、深い雪では爪が刺さらず、滑り止めの効果はほぼありません。

積雪が深い場合は、爪がしっかりと刺さり滑り止め効果がある軽アイゼン(4～6本爪)が必要です。注意してもらいたいのは、それほど深くない積雪で軽アイゼンを装着すると、木道を傷つけたり地面まで爪が貫き木の根や石をひっかけ転倒のリスクが高まることです。

登山前日に天気予報で『今晚は、山間部では雪が降ることもありそうです。』など降雪予報が出た時は、チェーンスパイクを携行しましょう。また、登山前に積雪・凍結状況など登山道についてお気軽にお問い合わせください。(執筆:澤田)



アイゼン(12本爪)



チェーンスパイク

早朝の楽しみ

箱根ビジターセンター

マガモが羽づくろいをしています。羽毛をきれいにして整え、尾羽のつけ根にある尾腺から分泌される油をくちばしや頭にこすりつけて全身に塗っています。羽づくろいは一年中見られる行動で、油塗りは羽毛の耐水性を高めます。

以前自宅でアヒルを飼っていたことがあるビジターセンタースタッフに聞いたところ、老いたアヒルは油が出なくなってしまうとのこと。水に浮かぶことができず沈んでしまい、もう少しで溺れてしまうところだったそうです。

野鳥観察は早朝がおすすめです。静寂の中、鳥たちの声が響きます。早起きをして双眼鏡を持って出かけましょう。彼らの生活の様子が見られるかもしれません。まだまだ朝は冷えるので、防寒対策を忘れずに。(執筆:鹿野)

参考文献…唐沢孝一著、平野伸明写真『たのしい自然観察 野鳥博士入門』全国農村教育協会2002年出版P.90
山岸哲、森岡弘之、樋口広芳 監修『鳥類学辞典』昭和堂2004年出版 P.12, P.419, P.676

写真説明…①～⑥マガモ(雌)羽づくろい中 ⑦羽づくろい後 ⑧マガモ(雄)2021年7月22日撮影

